

平成27年

雲南市議会12月定例会
一般質問通告一覧表

【一般質問日程 平成27年12月8日～10日】

平成 27 年雲南市議会 12 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	12/8(火) 午前 9 時 30 分～	7 / 細木照子	一括	1, 2	11	12/10(木) 午前 9 時 30 分～	8 / 佐藤隆司	一問一答	16, 17
2		16 / 堀江治之	一問一答	2, 3	12		14 / 山崎正幸	一問一答	17～19
3	12/8(火) 午後 1 時 00 分～	2 / 中村辰眞	一問一答	3～5	13	12/10(木) 午後 1 時 00 分～	9 / 周藤正志	一問一答	19～21
4		12 / 安井 誉	一括	5～7					
5		4 / 矢壁正弘	一問一答	7～9					
6	12/9(水) 午前 9 時 30 分～	3 / 原 祐二	一問一答	9, 10					
7		1 / 松林孝之	一問一答	10～12					
8	12/9(水) 午後 1 時 00 分～	5 / 白築俊幸	一問一答	12, 13					
9		13 / 細田 実	一問一答	13, 14					
10		11 / 土江良治	一問一答	14～16					

平成27年雲南市議会12月定例会 一般質問通告一覧表

平成27年12月3日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	7	細 木 照 子 (一 括)	1. 全国学力テスト における島根県内 の成績について 2. 雲南市の小学校 のいじめの状況に ついて 3. 道路や鉄道の法 面の除草について 4. 黒色の車の安全 対策について 5. マダニ媒介病防 除の事前対応につ いて	(1)今年次全国学力・学習状況調査において島根県の成績は不振であったといわれる。順位づけをしても内容が伯仲しておれば、あまり順位にこだわる事もないが、どのような状況で、どの様な内容で、どの様に判断しているか、伺う。 (1)14年度島根県の「小学校のいじめ」が過去最多だと言われる。教育の場での「いじめ」は、特に影響が大きい。先生が目が届かないとすれば、スクールカウンセラーの配置などを拡充して、いじめの無い環境を1日も早く作るべきだと思うが、考えを伺う。 (1)道路や鉄道の法面の除草を、隣接の農地所有者にまかせっきりではないだろうか。法面の除草は、所有者に責任があると思う。責任の所在をキチンとさせて、好意で除草をしてもらっていけば、謝意のひとつくらいはするのが常識ではないか。考えを伺う。 (1)高齢者にとって黒い車は、夕方は物凄く見えかねる。安全対策上、自動車の前の部分へ「白色ライン」でも入れるような決まりをつくる事ができないか考えを伺う。 (1)マダニが媒介する病気が急速に広がっていると言われる。マダニを運ぶ獣が人里へ出る分布は着実に拡大しており、危険性が高くなる。今のうちに先手を打つ手立てはないか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>6. 竹の有効活用について</p> <p>7. 「鉛給水管」の 取り替え状況について</p> <p>8. 「雑草イネ」の 防除について</p>	<p>(1)兵庫県では、放置竹林対策として、2つの高校が連携して竹を粉砕して鶏の餌に使い卵の付加価値を高める取り組みを始めたといわれる。雲南市も竹の繁茂には困っている。竹を有効活用することで環境整備や地域活性化に繋げる考えはないか。</p> <p>(1)健康被害の可能性があるとされる、上水道の鉛製給水管の交換状況について伺う。</p> <p>(1)水田の強害雑草で「雑草イネの赤米」が問題になっている。栽培の稲に混入すると、等級格下げや減収につながり、経営は大打撃を受ける。発生地域は近年拡大傾向にあり、防除対策に先手を打つことが必要であるが、認識を伺う。</p>	
2	16	堀江治之 (一問一答)	<p>1. 新庁舎について</p> <p>2. 国勢調査について</p>	<p>(1)10月13日から新庁舎での業務開始となったが、行政サービスを行ううえで新庁舎に対する市長の所感を伺う。</p> <p>(2)防災の拠点施設とされているが、請川・斐伊川の防災対策方針について伺う。</p> <p>(3)旭化成建材(株)の基礎杭打ちのデータ改ざんが問題となっている。新庁舎の基礎は問題ないと言われているが、どのような調査をされ何をもって問題ないと判断しているのか伺う。</p> <p>(1)今回の国勢調査からインターネットでの回答が推進されたが、市内のパソコン・スマートフォン回答の実態はどうであったのか伺う。</p> <p>(2)調査書は全ての家庭に配布され、全て回収されたのか、その実態について</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. JR木次線について</p> <p>4. マイナンバー制度について</p>	<p>て何う。</p> <p>(3)調査にあたって、調査書の配布・回収に調査員の方は面会が出来ない等により苦勞されているが、改善策はないのか何う。</p> <p>(1)JR三江線の全線廃止が検討されているが、同様なローカル線である木次・山口線の沿線でも住民の懸念が広がっていると言われていたが、その現状について何う。</p> <p>(2)木次線の収益に大きく貢献しているのが、トロッコ列車運行ではないかと思うが、今後のトロッコ列車運行方針について何う。</p> <p>(1)個人番号の通知が大幅に遅れているが、未配達の家はないのか、また対応策を何う。</p> <p>(2)1月から使用の、マイナンバーカードの申請・交付に支障はないのか何う。</p> <p>(3)マイナンバー制度をいまだ十分に理解されていない方も多いように感じられるがその対応策について何う。</p>	
3	2	中村辰眞 (一問一答)	1. 木次線について	<p>10月16日付新聞報道「三江線廃止へ」の記事は沿線自治体のみならず、ローカル線沿線の自治体に大きな衝撃であった。</p> <p>(1)木次線自体について</p> <p>①11月24日に「木次線・山口線沿線にも危機感」との報道があった。三江線廃止問題に端を発した率直な問題提起だと考える。雲南市としてどのように受け止めているか何う。</p> <p>②三江線が廃止の対象となった要因について、どのように考えるか何う。</p> <p>③木次線強化促進協議会は、三江線廃止について「動向を注視する」と</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>コメントが掲載された。JR西日本が三江線で目指す「新しい公共交通体系の構築」を木次線でも議論したい考えを示している中で「動向注視」でよいものかと考える。木次線強化促進協議会は木次線に対して何をする協議会か伺う。</p> <p>④三江線廃止問題が表面化した後に木次線強化促進協議会は開催されていないようだが、取り組みが遅いように思う。なぜ開催されないのかその理由を伺う。</p> <p>(2) トロッコ列車「奥出雲おろち号」について</p> <p>① 本年全般検査を受け、平成31年までの使用が基本的に可能となるとされている。平成31年以降の後継車両に対する考え方を伺う。</p> <p>② 出雲の国・斐伊川サミットにおいて、三江線廃止問題を受け木次線に対してどのような考え方をしているか伺う。</p> <p>(3) 新駅開設について</p> <p>① 平成26年12月定例会一般質問で9番議員の新駅設置に対する提案に前向きな答弁があった。市職員のエコ通勤を推進し、木次線の利用拡大を図る事も考えなければならない。そのためには新駅開設が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(4) トワイライトエクスプレス瑞風にかかる観光ルートについて</p> <p>① 11月23日に松江市でトワイライトエクスプレス瑞風を活用した地域振興策を探る「山陰みらいドラフト会議」が開催された。学生の発想を今後の取組みの参考にしようとした企画である。市キャリア教育や幸雲南塾の取組みの中でトワイライトエクスプレス瑞風の乗客に対するオモテナシルルート開発に生かせないかと考えるが見解を伺う。</p> <p>② 神話に包まれた雲南地域において、神話は観光振興の大きな要素であ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. いじめ問題について	<p>り、魅力である。そこで須我神社や銅鐸をはじめとした本市ゆかりの神話や神話の地を題材にした絵本を作成してはどうか。作成した物語は、市内の宿泊施設の各部屋に配付し、泊まれた方に見ていただくことで、市の魅力を発信することにつながるのではないかと考えるが見解を伺う。</p> <p>(5)意識啓発について</p> <p>①木次線の廃止に関する記事が報道されてから「乗って守ろう」と騒いでも遅い。現実に目を向けながら「今、何をすべきか」を考えなければならない。まずは全市一丸となって危機感を持つ事が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>イジメにより悲しい結末を迎えた事件が最近頻発している。本市においても少なからずイジメがあると聞く。</p> <p>(1)本市におけるイジメの実態を伺う。</p> <p>(2)イジメの報告が教育委員会に上がってくる手順を伺う。</p> <p>(3)教員が気づかないような潜在的なイジメがあると聞いた。どのような対応を考えるべきか伺う。</p> <p>(4)「みんなの学校」で知られる大阪府立大空小学校ではイジメは無いのと同時に、不登校の児童も皆無である。全教員が学年の垣根を外し、児童一人一人にかかわる体制ができているように思う。本市においても可能ではないかと考えるが見解を伺う。</p>	
4	12	安井 誉 (一括)	1. 三刀屋高校の学生寮について	<p>(1)三刀屋高校在籍生徒数の減少対策の一環として寮費の補助は考えられないか。</p> <p>(2)寮は県の施設であるが、市としてリニューアルは考えられないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 農業の振興施策 について	<p>(3) 県内外から生徒が入ることにより地方交付税への影響はあるか。現況においてはどうか。また、その交付税は何に使われているか。</p> <p>(4) 若者が増えることによって、雲南市の活性につながると思う。若者定住対策の一環とも考えられるが、市の考えを問う。</p> <p>(1) 雲南市の基幹は農業振興と考えられる。国の政策は雲南市にはほど遠い点がある。小さい施策でも中山間地に合った方策提案を望む。農業離れや荒廃地が進み、有害鳥獣の住家にならないうちに対策を講ずるべきであるが考えを伺う。 また、耕作を3年程度休止した農地は、農薬等の成分が抜け、有機農業が可能な土地となるが、こうした考えはないのか伺う。</p> <p>(2) 農業振興対策としての現況提案はないのかを伺う。</p> <p>(3) 畜産は雲南市の大きな財産である。畜産対策に力を入れなければならない。再度畜産に目を向ける方策及び市内の畜産農家に対する方策の現状と施策を伺う。</p> <p>(4) 地方創生枠の雲南版は何を取り入れようと考えているのか伺う。</p>	
			3. 山林の活性化対 策について	<p>(1) 市の80%以上は山林であるが、市の政策の中では投資額が少額である。林業従事者育成、作業道の推進、集積機械の導入、間伐材、バイオマスチップの増益等々力を強化すべきと思う。中でも残材の集積に課題があると感じているが、執行者の本気を聞きたい。</p> <p>(2) 森林に取り組む意識向上は住民と行政が一体となっていくべきと思う。その一体化について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 産業振興への執行部の意欲について	(1)本市は農業振興、林業の推進、畜産振興、観光問題や産業振興等産業の振興は重要な課題である。その課題に対する意欲を伺う。 (2)産業振興部の所管範囲は広く、部を分割し体制を充実する必要があると考えるがその考えはないのか伺う。	
5	4	矢 壁 正 弘 (一問一答)	1. 農業政策について	(1)環太平洋連携協定（ＴＰＰ）交渉が10月5日に大筋合意し、聖域5品目が大幅開放となり、国会決議との整合性が取れていないとの声が上がっている。安倍首相は主要品目を中心に関税撤廃の例外は確保できたとコメントしているが、市長の見解を伺う。 (2)ＴＰＰ合意によって、雲南市のような中山間地の農業は大きな転換点を迎えるが、市として農業政策の大きな転換があるのか伺う。 (3)政府は農業強化を目指した農業対策案を示し、農業の体質を強化し攻めと守りの2本柱とした対策を検討しているが、市として独自の強化策を検討しているのか伺う。 (4)財務省の審議会が、飼料用米をはじめとする転作作物に対する助成の削減が必要とする提言を発表した。また、耕作放棄地の固定資産税の増税も検討していると聞く、市として国に対し実行されないよう提言していかなければならないと思うが見解を伺う。 (5)農業の先行き不安、農業機械の更新等持続は無理と判断して、認定農業者の方が耕作面積を縮小された。認定農業者ステップアップ支援事業等の補助金の拡充は出来ないか伺う。 (6)個人農業者の方も、農業機械の維持更新ができず耕作を取り止められた。個人農業者に対しても補助金制度等整備できないか伺う。 (7)耕作の取り止めを考えている方から、中間管理機構への申請等質問される。発足から時間が経過し、ＰＲ及び説明が不足しているように思うが	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 市内の公園事業 について</p> <p>3. 予防接種及び健康診断の補助について</p>	<p>見解を伺う。</p> <p>(1)以前の一般質問の答弁で、老朽化遊具の更新について基本的に行っていくとのことだったが更新の実態は。また、住民に説明が無く撤去された遊具について、その後の再設置の状況はどうか伺う。</p> <p>(2)高齢者用の体力増進の遊具が設置されている公園がある、少子高齢化が進む雲南市として設置を検討してはと思うが見解を伺う。</p> <p>(3)大東町の丸子山公園には若者を対象としたスケートボードの施設がある、毎週土日また毎晩のように若者が市内外、県外からも練習にやってくる、施設の拡充を考えてはと思うが見解を伺う。</p> <p>(1)インフルエンザの予防接種について</p> <p>①インフルエンザ予防接種の65歳以上の方の料金が同じ雲南保健所管内でありながら雲南市は奥出雲町、飯南町より高額となっているがなぜか伺う。</p> <p>②飯南町、奥出雲町と同一金額に出来ないか伺う。</p> <p>(2)雲南市成人健診について</p> <p>①平成27年度にがん検診を受診された方は、市の成人全体の何%であったか伺う。</p> <p>②自己負担額を軽減すれば受診率がアップすると思うが軽減の考えは無いか伺う。</p> <p>③わずか5mlの採血でがん検診ができる、アミノインデックス検査がある。この検査に補助ができないか受診率のアップにもなると思うが見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. プラチナ社会とスマートウェルネスシティについて	(1)以前、スマートウェルネスシティ構想について提案した。構想をしっかりと研究し参考にするとの答弁だった。その後、どのように研究し市政の参考としたのか伺う。 (2)市長の方針としては、スマートウェルネスシティ首長研究会への参加は見合わせ、構想の考え方を参考として課題解決先進地へつなげる考えか見解を伺う。	
6	3	原 祐 二 (一問一答)	1. 住宅対策について 2. 地域経済について	(1)結婚・子育てを理由とする市営住宅への入居状況(市内・市外)を問う。 (2)定住促進住宅(木次東・加茂中団地)へ市外から転入された子育て世帯の入居状況を問う。 (3)均衡ある若者の定住促進を図るため、市営住宅と民間アパート等へ結婚・子育てを理由に入居する世帯へ助成し、若者の社会増を図ってはどうか。 (4)幼小学校の閉校地域及び統合計画地域への若者定住を促すため、新婚世帯と子育て世帯を重点に据えた住宅リフォーム支援事業を拡充(1/2助成・上限100万円)してはどうか。 (5)定住対策は、地域の状況を的確に把握し、人口減少率の高い地域、なかでも幼小学校の閉校地域及び統合計画地域への住宅施策(世代同居リフォーム支援等)が必要ではないか。 (1)普通建設事業費(市庁舎・市立病院を除く)の投資額が加茂町及び三刀屋町において少ない。地域経済に与える影響をどう考えているのか。 (2)普通建設事業の投資額について、各町の均衡を配慮すべきではないか。 (3)木次駅前商業棟が来春改装オープンする。地域経済に与える影響をどう考えているか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 水田フル活用について	<p>(4) 商業棟への出店状況はどうか。(1階2階の床面積約9,600㎡の利用率)</p> <p>(5) 自治体が管理運営するのなら、入居条件をオープンにし、市内事業者の誘致や若者チャレンジのワークスペース、観光協会等の活用を検討すべきではないか。</p> <p>(6) 改装オープンに向け、市として商業棟の経営方針と決意を問う。</p> <p>(1) 水田フル活用ビジョンに与えるTPP合意の影響を問う。</p> <p>(2) 本年の主食用米の収穫(数量・品質)を踏まえた、次年度に向けた「売れる米づくり」の戦略を問う。</p> <p>(3) つや姫・きめむすめの栽培奨励の取り組み状況を問う。</p> <p>(4) フル活用ビジョンに掲げる作物ごとの作付予定面積は、目標数量に向けた推進が図られているか。</p> <p>(5) 雲南市産そばを中心とした、6次産業化の取り組み推進の状況について問う。</p> <p>(6) 乾田の不耕作地解消としての「そば」の作付推進を図るため、刈取り委託料の経費削減に向けた支援(コンバイン更新費用支援)をすべきではないか。</p>	
7	1	松林孝之 (一問一答)	1. 中心市街地活性化事業について	<p>中心市街地活性化事業の現段階での取り組みにおいて内閣府の見解が示されたようだが、基本計画(案)の策定状況と今後の展開について伺う。</p> <p>(1) 国の地方創生に基づく地域経済の好循環事業が各地で展開されている。本市の総額2億4千万のプレミアム商品券事業もその1つであり、具体策こそ重要と感じている。そうした事業の効果がある中、市内経済の状況をどう分析しているのか。</p> <p>(2) 経済の中核であると共に、人口の流入が最も期待される「中心部のまち</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 選挙権年齢の引き下げについて	<p>づくり」の具体策の内容と計画は。</p> <p>①まちなみ整備（インフラ）</p> <p>②賑わい創出（官民・ソフト事業）</p> <p>③居住支援（子育て・学校・教育等）</p> <p>(3) 中心市街地活性化事業のメリットである、それぞれの補助事業に対して、各省協議の進捗状況は。</p> <p>(4) そのなかの1つである社会資本整備総合交付金の「都市再生整備計画」策定の進捗状況は。</p> <p>(5) 11月16日の中心市街地活性化協議会運営委員会資料に、「整備区域における店舗や施設の選定、配置が決まらなると個別計画の策定はできない」とある。賑わいの創出のための「街の絵」を描くには誰がイニシアチブを握るべきと考えるか。</p> <p>(6) 1月の内閣府申請と3月認定に向けての見解を伺う。</p> <p>(7) 第2次総合計画の都市計画マスタープランに基づく中心市街地活性化事業である。地域経済の再生は、本市のみならず日本全国待ったなしで展開され、人と経済の奪い合いとなっている。賑わいの創出である中心市街地活性化事業の実行に空白の時間が生ずれば自治体の弱体化と人口流出に直結する。市長の見解を伺う。</p> <p>公職選挙法等の一部を改正する法律が成立し、年齢満18歳以上から選挙に参加することができる。また、当分の間の特例措置として選挙犯罪等についての少年法等の適用の特例を設けることとされた。</p> <p>(1) 雲南市においては、平成28年7月の参議院選挙が初となる見込みである。高校生は同じクラスでも選挙区が違ったりする。また、SNSやメ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>ールといったインターネットに関する事項、さらに選挙活動など、公職選挙法について、中学校、高校での指導が必要であるが、対応されているか。</p> <p>(2) キャリア教育の推進が進んでいる本市は地域課題への関心も高く、より一層社会参画意識が高まると思われる。高校生を含めた未成年者の政治参加について所見を伺う。</p>	
8	5	白 築 俊 幸 (一問一答)	1. 農業振興について	<p>(1) 水田農業を維持していくことは、中山間地域にとっては産業政策のみならず、地域政策としても極めて重要であると考えが所感を伺う。</p> <p>(2) 今秋の収穫状況を見ると、9月の長雨で圃場がぬかるんでコンバインが入れず、苦労されたところが多い。暗渠排水は、標準で、反当幾ら掛かるのか。</p> <p>(3) 暗渠排水等に活用出来る市単の土地改良事業補助金は有効な施策と思うが、最高100万円の3割補助では少なすぎる。もっと拡充すべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 県営の中山間地域総合整備事業等による用排水路整備単独ではB/C(費用便益比)が出にくいと聞く。中山間地域においては、B/C(費用便益比)の考え方を改める必要があると思う。そうしたことが全国一律ではなく地域の実情に配慮した農政を、と言う一つではないかと思うが見解を伺う。</p> <p>(5) 農業機械の更新については、一般に国・県に於いては認められていない中で、市の集落営農等ステップアップ支援事業が更新を認めていることは評価する。しかし、二分の一補助で、最大25万円では余りに少なすぎる。もっと、拡充する考えはないか。</p> <p>(6) 過疎債を利用した農業機械の更新について、県議会における答弁で、一</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 地域振興と公共 施設等の適正配置 について	<p>義的には市町村の問題で、過疎債の枠や優先順位等から市町村の判断とされている。雲南市の考えを伺う。</p> <p>(1) 合併した 6 町村の一体化は重要なことではあるが、一体化は何をどこまで求めるのか。</p> <p>(2) 6 町村としての敷居は低くはなっても、意識として今後もなくならないと思う。だとすれば、コンパクトシティ等の考え方も、旧町村毎に完結すべきと思うが所感を伺う。</p> <p>(3) 商工会等も従来の町村毎をから集約されると聞かすが、なくなるであろう所からは、残念との声もある。市として、どの様に思うのか。</p> <p>(4) 先般、市の公共施設等管理計画の案が発表された。基本方針として、公共建築物の保有量、配置の適正化が謳われている。市としての適正配置、全体最適はやはり中心部になってくることを周辺町村としては危惧する。旧 6 町村を意識したものであって欲しいが、見解を伺う。</p>	
9	13	細 田 実 (一問一答)	1. 地域医療につい て 2. 木次駅前商業棟 整備事業について	<p>(1) 11 月に雲南地域医療を考える会主催によるシンポジウムが開催され、今後の地域医療を担う若い世代の意見交換がなされ、医療と介護の連携に議論が交わされた。</p> <p>①市としての若い人材育成への考え方を伺う。</p> <p>②雲南圏域の連携がますます重要となってくる。市立病院の果たす役割も重要性である。その期待にどう応えるか。</p> <p>(1) 木次駅前商業棟整備事業は一般財源を多額に投入するなど他事業、周辺地域の整備、教育、福祉予算などへの影響が懸念され、市民からも不安・心配の声をいただいている。当然影響があるが市民の不安にどのように</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 施設等総合管理 計画について</p> <p>4. 三江線廃止報道 と木次線について</p>	<p>対処していくのか。</p> <p>(2) 指定管理費と家賃収入は適正であるか。</p> <p>(1) 財政規模に見合った公共施設などの整備、運用を目指すとされているが、総論賛成だが、各論になると意見が異なる。新規整備は極力行なわないとされているが、少子高齢化は新たな施設の必要性も生む。効率化を掲げると周辺地域の施設整備は進まない。地域住民の生活実態、ニーズに沿った具体的計画を求めたいが、考えを伺う。</p> <p>(1) 三江線廃止報道は沿線住民だけでなく島根県民に大きな衝撃を与えた。木次線沿線の雲南市にとっても他人事とは思えない。どのように考えているか。</p>	
10	11	土江良治 (一問一答)	1. マイナンバー制 度を含めた情報漏 えい対策について	<p>(1) マイナンバーカードについて、市民がどれだけ理解していると考えているか。</p> <p>(2) マイナンバーカードは、個人番号カードが申請できますとある。将来預金口座へ適用させると政府は言っている。預金総額を把握されることなどを危惧し、カード申請しないとどうなるか。</p> <p>(3) 番号利用拡大に伴い、国や企業から情報が流出する恐れが高まる。情報に不正アクセスできないように安全性を高めた情報漏えいを防ぐ新たなシステムは構築できているのか。あるとすればどのような対応か。</p> <p>(4) 漏えいが発覚した場合、地方自治法によると住民訴訟はまず自治体を相手取って第1段階訴訟を起こす。自治体の敗訴が確定すると、自治体は損害を発生させた職員に賠償金を求めなければならないとある。</p> <p>①職員がマイナンバーに関する知識をどれだけ習得しているのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 市内道路の積雪 状況観測システム の導入について	<p>②公務に起因する損害を自治体ではなく、職員個人が負うのは納得がいかないと思う。実際そのようなことになるのか。</p> <p>③額によるが、職員が損害を負担するのは至難である。そのような場合に補償する保険制度はあるのか。あるとすれば、賠償責任保険への加入を進め、その掛金の一部を助成するような仕組みを構築する必要があると思うが、どのような対応策が考えられるのか。</p> <p>(5) コンビニなどで住民票など各種証明書を取得できる仕組みの導入は考えられているのか。</p> <p>(1) 除雪は観測地点を委託された方が積雪状況を観測し、総合センターで判断されている。</p> <p>①観測地点の距離が離れている場合は、その間の道で積雪量が違うこともある。このような観測に不都合はないのか。</p> <p>②長野県須坂市では、除雪などの迅速化に農作物の生育状況を確認するために開発したシステム（カメラ観測）を活用していると聞く。このような監視システムは検討に値すると思うがどうか。</p>	
			3. ドローンの積極 的活用について	<p>(1) 小型無人機「ドローン」は事故や災害時の公共機関による捜索救助活動や市内の観光利用など空撮動画するなど活用範囲は広い。今後、橋梁点検などの目視には大きな力を発揮するのではないか。茨城県水戸市は既に導入され、福島県郡山市でも 28 年度に導入するという。雲南市は水害に弱い真砂土地帯である。職員が無線免許取得するなどの利用は考えられないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 「人生手帳」(仮称)の冊子作成について	(1)独居や夫婦のみの高齢者が増えている。安心して老後を過ごすため、元気なうちに今後の生き方を家族らと考える一助となる、人生の終わり方に備える冊子はあるのか。無いとすれば、作ってはどうか。(兵庫県小野市、長野県須坂市、新潟県見附市などで作成されている。)	
11	8	佐藤隆司 (一問一答)	1. 平成28年度予算編成について 2. 地域自主組織について	(1)基本的な方針について ①今年度から「第2次総合計画」及び「まち・ひと・しごと創生 雲南市総合戦略」に基づき「人口の社会増」を目標に掲げ、「飛躍の10年」に向けた取り組みがなされている。2年目となる平成28年度予算編成の基本的な方針は、ここ何年も同じ方針の示し方である。毎年同じような方針を示され、目標に向けた姿が見えない。こうした示し方となる意義は何なのか伺う。 ②予算編成の基本的な方針の示し方は、抽象的であり具体性に乏しい。もっと工夫や丁寧さが必要ではないのか伺う。 ③二つの計画の実行を確実に進めるための、平成28年度予算編成における新たな施策、また、重点的に取り組む施策は何か伺う。 ④平成28年度の地方創生の新型交付金や1億総活躍社会に関連する施策に対する考えを伺う。 ⑤「まち・ひと・しごと創生 雲南市総合戦略」を策定し、全国に先駆けて提出された。早く策定したことへの評価を伺う。 (1)雲南市交流センター条例が制定され5年が経過したことについて ①平成25年度から制度改善がされ、取り組みの第2ステージとして活動基盤の強化がされた。その後の地域自主組織の活動の検証で制度改善の必要な点はあるのか伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 結婚対策について	<p>②これまでの取り組みで、行事・組織・会議の棚卸しが不可欠との指摘もあるがどのように認識しているのか伺う。</p> <p>③総合センターが縮小となるが、地域づくり担当職員の役割など地域自主組織への支援が希薄化しないか伺う。併せて今後の支援体制を伺う。</p> <p>④地域自主組織の活動展開が活発化（レベルアップ）し、視察対応に追われる状況にある中、今後の組織体制を見直す考えがあるのか伺う。</p> <p>(1)結婚や婚活支援について</p> <p>①これまでも多くの一般質問がされているが、具体的な議論はなかったと感じる。市として市民と協働により、力強く対策を検討する必要があると思うが、結婚や婚活支援の重要性の認識を伺う。</p> <p>②仲人の方への報償金、あるいは結婚祝い金の制度の必要性は、以前円卓会議等で検討するとのことであった。その後の検討状況を伺う。</p> <p>③市民、行政、事業所のやるべきことを明確にし、全市的な関心を高めながら共に人口減少対策への意識を高めるため、婚活や結婚対策などを推進する条例制定について見解を伺う。</p>	
1 2	1 4	山 崎 正 幸 (一問一答)	1. 人口の社会増と 地方創生について	<p>(1)島根県人口移動調査によると、平成26年10月から平成27年9月の1年間で雲南市は92人の社会減となった。雲南市第2次総合計画に掲げた目標値である152人に対して60人、率にして40%上回る結果になったが、その要因と所見を伺う。</p> <p>(2)人口の社会増と持続可能なまちづくりに向け、定住対策・チャレンジ創生・情報発信の3つのプロジェクトチームを編成し、新規拡充30事業に取り組んだ成果と評価する。プロジェクトごとに人口の社会増の具体的な目標数値を設定しているか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 周辺部の維持管理について	<p>(3)人口の社会増と地方創生に向け新規拡充 30 事業を推進している。効果を検証し市民へ説明し理解を求めて、事業推進すべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>(4)雇用の創出なくして人口の社会増は考えられないが、取り組みが弱く非常に遅れているように感じる。その原因と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>(5)行政の支援策を活用し、島根県に移住された方は 4 年間で 2.9 倍と伸びているが、定着率は約 47%である。定住を図るには雇用の場の確保が第一条件である。地域おこし協力隊は、最大 3 年の事業であり制度終了後に生計を営む手だてがなければ定住に結びつかない。制度終了後の市の支援策について伺う。</p> <p>(6)行政は人口の社会増と地方創生に向け積極的に取り組んでいるが、今後は地域自主組織の関わりも重要と思うが考えを伺う。</p> <p>(7)地方創生を実現する要素として子育て世代の絶対数の増加による出生率の向上が必要不可欠であると考えるが所見を伺う。</p> <p>(1)議会報告会において、特に周辺部で生活される市民から少子高齢化の進行に伴い地域及び集落の維持管理に向けた厳しい意見があった。近い将来美しい農山村風景が廃墟となることを危惧しているが、今後の取り組みに対する考えを伺う。</p> <p>(2)公共事業の減少に伴い建設業協会においては廃業や規模の縮小を余儀なくされている。特に降雪地域の除雪作業においてオペレーター不足が懸念され、除雪に大きく影響すると考えられるが、将来に向けた対応について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. JR木次線の存続について	(1) JR西日本は三江線の全線廃止を検討されている。JR木次線は通勤・通学及び雲南圏域の2次医療機関である雲南市立病院への利用客は少なくない。2市1町で構成する木次線強化促進協議会での存続に向けた取り組みについて伺う。 (2) トロッキ列車は老朽化している。その後継車両が必要であるが市としてJRにどのような対応しているのか伺う。	
13	9	周藤正志 (一問一答)	1. 市立病院のあり方について 2. JR木次線に関する取り組みについて 3. 地域自主組織のあり方について	(1) 改築工事が始まった。将来的な医師確保と経営が成り立っていくのかが懸念されるが ① 来年度、新改革プランが策定されるが、そもそも常に戦略的経営計画をもって運営されなければならないのではないかと。 ② 市が描く市立病院のあるべき姿と県がまとめる地域医療構想は整合するのか。 ③ 掛合診療所をなぜ市立病院の分院としないのか。 (1) 三江線の存続が問題となっている。木次線に対する取り組みが弱く強化しなければならないが ① 木次線利用促進とトロッキ列車更新・魅力アップについて、関係機関、市民のほか、木次線ファンや鉄道マニアを含めた意見交換・協議がどのようにもたれ、具体的方策が進められているか。 ② 中心市街地及び木次線の中心駅にふさわしい駅舎にJRと協議し整備すべきである。 (1) 地域自主組織が小規模多機能自治の先進事例として総務大臣表彰を受けたことは喜ばしい。また、市と各地域自主組織間で基本協定が結ばれ、	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 市民の声、立場に立った市政運営がなされているか	<p>関係が明文化されるのは望ましいが、</p> <p>①そもそも地域自主組織の活動（内容や範囲）は何をもって定めているのか。（特に政治や宗教との関わり）</p> <p>②9月定例会一般質問において特定の質問に対し、地域自主組織が議会傍聴の動員をかけた事案があったが、これについてどう思うか。</p> <p>(1)米選機1.9mmふるい目導入支援事業が実施されているが、生産者の声や実態が把握されているか。</p> <p>(2)非正規で働く母親が出産（第二子）を機に一時離職をしたが、市から預けている児童（第一子）の保育所退所を命ぜられた事案があった。大変困惑されたがこの措置は妥当なのか。</p>	
			5. 新産業創出の取り組みについて	<p>(1)島根県ヘルスケア産業推進協議会が設立され、奥出雲町、飯南町では先進モデル構築支援事業に採択されているが、市ではどのような取り組みがされているか。</p>	
			6. 第2次総合計画スタートに伴う市長の政治姿勢について	<p>(1)これまでの基礎固め、守りのまちづくりから攻め、飛躍のまちづくりへと転換が図られた。速水市政3期目の集大成でもあるが</p> <p>①大型事業（本庁舎、市立病院、旧サンチェリヴァ、清嵐荘、温水プール、中心市街地活性化、企業団地、6次産業化施設など）が目白押しの中、これまでの成果を水泡に帰すことなく、健全財政が堅持されるのか懸念される。誰もが理解し納得できるよう根拠を示してわかりやすく説明していくべきだ。</p> <p>②「課題解決先進地」や「人口の社会増」は、いわば行政のミッションだ。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				「市民生活をいかに向上させるか」が一番の肝心要であり、その実現のために市民とどういう価値観を共有してまちづくりを進めるのか。	